



日本国内で活躍するベロタクシー



ベロタクシー(VELOTAXI)って？

ベロタクシーとは、1997年にドイツで開発された高性能な自転車タクシーとその運営システムのことです。「ベロ(VELO)」は、ラテン語などで自転車のことを意味しています。

ベロタクシーの特徴は？

ベロタクシーの車両は、ドライバーと乗客が安全に、快適に、そして安心して運行できるように様々な工夫ががされています。

電動アシスト

ベロタクシーには電動アシストシステムが装備されており、ペダルを漕いでの走行中、ちょうどバイクのシフトのように右手のグリップを操作することにより、任意にON/OFFや強弱の調整ができています。そのため、道路状況や乗車人数、ドライバーの体力などに応じて電動アシストを調整しながら6～8時間の営業が可能です。

ボディ構造

とても特徴的な卵形のボディは、走行時の空気抵抗を軽減するように設計されています。そして、ボディは軽量のポリエチレン、フレームはスチールで造られていて、ボディ・フレーム共に100%リサイクルが可能となっており、環境にもやさしい造りになっています。

灯火類

都市部の交通にも対応し、安全に運行できるようベロタクシーにはブレーキランプとウィンカーが装備されています。

油圧式ディスクブレーキ

定員乗車時で300kg以上になるベロタクシーを確実に減速・停止させるために、リアの左右には油圧式ディスクブレーキが装備されています。それによりドライバーは軽い操作で安全にベロタクシーを減速・停止させることが可能となり、乗客にも安心感を与えます。



2005年の愛・地球博で運行されたベロタクシー



ベロタクシーはどこでも走れるの？

道路交通法

ベロタクシーの車両は、道路交通法上は自転車にあたり、運行するときは道路左側端を走行することになっています。また、交差点においては二段階右折で右折を行うこととなります。

都道府県公安委員会規則

都道府県の公安委員会が定める細則によりベロタクシーの運行が阻まれている地域もある。「二輪又は三輪の自転車」において運転者以外の乗車の特例を認めていない県も多く、その場合は乗客を乗せて走行できない(ドライバーのみの走行は可能)。

一般道でベロタクシーの運行ができない都道府県

岩手県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、山梨県、富山県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、佐賀県

どうやって運営するの？

広告業として

ベロタクシーの運営は主にボディに張られたラッピング広告の収益によって行われています。ベロタクシーは広告業としての一面が強く、この基盤がしっかりしていなければ運営は難しくなります。

運輸業として

主に広告の収益によって運営されるため、運賃は比較的安く抑えられています。また運行は基本的にドライバーに委ねられており、各自が決められたエリアの中で人の集まる場所へと赴いて行きます。

環境保護活動として

ベロタクシーが都市を走行することは、環境に対する啓発活動としての一面も持ち合わせています。こうした環境に優しいイメージや、環境保護活動としての趣旨に賛同してスポンサーとなる企業も少なくありません。

国内のベロタクシーの歴史

- 2002年
 - 4月 京都で日本初の運行開始
 - 10月 東京で運行開始
- 2003年
 - 3月 世界水フォーラムで運行
- 2004年
 - 3月 奈良市で運行開始
 - 4月 大阪市で運行開始
 - 4月 松本市で運行開始
 - 5月 那覇市で運行開始
 - 7月 広島市で運行開始
- 2005年
 - 3月 名古屋市で運行を開始
 - 3～9月 愛・地球博会場内で運行

- 2005年
 - 4月 仙台市で運行開始
 - 4月 喜多方市で運行開始
 - 7月 倉敷市で運行開始
 - 7月 長崎・伊王島で運行開始
 - 7月 宮崎市で運行開始
 - 10月 神戸市で運行開始
 - 11月 福岡市で運行開始
- 2006年
 - 5月 熊本市で運行開始
 - 7～8月 松島で期間限定運行
- 2007年
 - 10月 新潟市で運行開始
 - 10月 柏市で12月中旬まで試験運行

★ベロタクシーが運行している都市



参考：Wikipedia
製作：東京工業大学 屋井研究室
藤井拓朗 コウ モニラット